

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

『すごい思考ツール』 小西利行著

文芸春秋 303頁 1800円(税別)

著者はコピーライター。主な仕事に「伊右衛門」「ザ・プレミアム・モルツ」「モノより思い出」などの1000を超えるCM・広告作品があります。著者は言います。「思考ツール」を持たずに仕事をするのは、バットを持たずにバッターボックスに入るようなもの。思考ツールのいくつかをご紹介します。

★お金がかかるアイデアはアイデアではない：「お金があれば成功できるのに」と思っているマインドの人は、多くの場合お金があっても成功できない。アイデアとお金は密接に関係しているようで、実は赤の他人。

・2012年「はなまるうどん」：「期限切れクーポン大復活祭」日本全国どんな期限切れクーポンでもお好きなメニューが50円引きとすることで、「紙切れ」を「金券」に変えた。

(澤根の問い：金額的には50円値引きと同じですが、こうすることの意味は何でしょう)

★「離見の見」(りけんのけん)：能楽の祖、世阿弥が、舞台には我見(がけん)と離見があるとしました。我見は役者自身の視点で、離見は観客の立場から自分を見る視点、すなわち客観的に全体を見る力。まず、「相手のために」と「相手の立場で」はまるで異なり、真逆の答えになることすらある。相手のために、という思考には自分の都合のいいように肥大化してしまうワナがある。好きな人のために大きな花束を抱えてデートに行き人前で渡したら、ドン引きされるかもだ。「相手の立場にたって」開発した製品、サービスも、相手が使った反応を見て、何度も見直し、磨き上げるのが望ましい。

★ホワイトかけ算メモ：「できること」×「好きなこと」_以下例示

1.解決する問題を決める

2.「できること」を左側に書き出す

3.右に「好きなこと」を書く

4.左右のこたばを掛け合わせる

本屋にもっと若者が来るようにする		
・立ち読み ・書籍の配列 ・POP職人	・AI・POP職人 ・立ち読みマッチングアプリ ・書籍の配列占い	・AI ・マッチングアプリ ・占い

奇抜なものを含めて大量のアイデアを作りそこから大当たりを選び抜く手法

★「ブラック割り算メモ」：「世の中の不満」÷「企業の技術」。「不満」というブラックな感情をベースに、ヒット要素の高いアイデアを生むメソッド。

1.解決する問題を決める_以下例示

2.「一人暮らしでの生活の不満」を左側を書く

3.右に「提供できる技術」を書く

4.左右をぼんやり見ながら「不満を技術で解決できそうなもの」を書き出してみるこたばを掛け合わせる

1人暮らしの若者に支持される家電をつくる		
・リモコンがない ・隣がうるさい ・賞味期限切れの食品が多い	・逆位層の音波で隣の騒音を抑えるスピーカー ・ゴミを見分けてすてるAIゴミ箱 ・おーいと呼べば、はーいと答えるリモコン	・アクティブノイズキャンセル ・AI ・音声認識

★プレゼンの必勝方程式、「課題⇒未来⇒実現案」

普通のプレゼンは「課題⇒解決案」だが、そこに未来を入れ込む。未来の提示がないと人はワクワクしないし、何より未来の姿がなければ「解決方法」を選ぶ基準がないからだ。

課題：今こうですが、

↓

未来：こうなりましょう

↓

実現案：この方法で

いかがでしたか？最後のプレゼンの方程式、課題⇒未来⇒実現案は、そのまま簡単な思考ツールとして使えそうです。

この月刊サワネを、お知り合いの方に見せてあげてください、きっと喜んでいただけます。

思考ツール

前項で「思考ツール」という言葉がでてきました。そもそも思考ツールとは何なのでしょう。検索してみました。トップの方に出てくるほとんどが教育関係だったのでびっくりしました。現在の学習指導要領では、どのように考えればよいかという「考えるための技法＝思考スキル」を身につけることを重視しています。その結果出てきたのが「思考ツール」だったのです。子供のため以上に、大人にとっても必要なものだと思います。「よく考えてみないとわからない」とか「ちょっと考えさせてください」という言葉をよく使いますが、考えてみるとは具体的にどういうことなのでしょう？同じことをぐるぐる何回も頭に浮かべたり、良いと思えるアイデアがひとつ生まれたりそのことばかり考えたりしていないのでしょうか？

思考ツールとは、具体的な考え方を教えてくれるツールのようです。

ネットから思考ツールの名前を拾ってみました。

- ・ベン図～比較する、分類する～
- ・ピラミッドチャート～焦点化する、抽象化する、構造化する～
- ・座標軸～分類する、変化をとらえる、評価する～
- ・表～変化をとらえる、関係づける～
- ・プロット図～順序だてる、構造化する～
- ・ステップチャート～順序だてる、要約する～
- ・くま手チャート～多面的に見る～
- ・コンセプトマップ～関係づける、関連づける～

★思考ツールに共通点があります。

- ・書いて使う。頭の中だけで考えるものではない。
- ・長い文章を書かない。
- ・図、チャート、マップなど様式がある。

共通点がわかってきたら、見えそうな気がしてきます。

思考ツールを役立てる

思考ツールは、課題解決の役に立ちます。課題がなければ使いようがないのです。では、解決すべき課題を書き出してくださいと言われてすらすら書き出せるでしょうか？書き出したことがあるでしょうか？

思考ツールを最初に役立てる課題、それは解決すべき課題を見つけることかもしれません。

しかし、ご安心ください。私たちには解決すべき課題がしっかりとあります。事業の利益確保です。これで少し考えて行きましょう。「利益を増やす」では、課題として漠然としすぎていますので、まず細かくすることを考えます。

「考える」の基本は、先ほど思考ツールの共通項として見つけた「書くこと」だと思いますので、書いてみます。

利益は、売上から経費を差し引いたものです。経費は、仕入とその他の費用(販売費および一般管理費)からなります。こうなります。

利益＝売上－(仕入＋その他の費用)

増やすを↑、減らすを↓で示すとこうなります。

利益↑＝売上↑－(仕入↓＋その他の費用↓)

さらに、細かくして見ましょう

売上↑＝売上個数↑×単価↑、顧客数↑×顧客単価↑

思考ツールのひとつ、表を使ってみましょう。

項目	実施方法
売上個数↑	
単価↑	
顧客数↑	
顧客単価↑	

もちろん、単価↓かつ顧客数↑で利益を増やす方法などもありますが、ここでは省きます。

書くコツは、長い文章をかかない。短い言葉、あるいは単語を使うことです。書き出すと、新たな課題が次々とでてくるかもしれません。そういうときは、ネットで「思考ツール」を検索しましょう。